



近畿財務局 大津財務事務所 理財課 調査官 平井 有紀
平成7年採用（国家Ⅲ種）

◆現在の仕事内容

大津財務事務所理財課では、滋賀県内にある銀行、信用金庫、貸金業者、商品券を発行する前払式支払手段発行業者など、様々な金融機関の監督に関する仕事を行っています。

その他、広報活動として、地域の方々に財務局の業務や財務省・金融庁の施策を広く理解していただけるよう、馴染みが薄い「国の財政」や、年々手口が巧妙になっている「特殊詐欺の被害防止」など、小学生から高齢者まで世代に応じた各種講座を実施しています。



◆現在の仕事の魅力、やりがい

理財課の業務においては、金融機関の方とお話しする機会が多く、法律や規則など業態ごとの専門知識が必要となります。私は、これまで金融機関の監督業務に携わったことがなかったので、初めて聞く金融用語も多く、当初は戸惑いもありましたが、上司や先輩・同僚に相談しつつ、日々学びながら業務を行うことができ、今ではやりがいを感じています。

また、広報活動については、参加者の世代に応じ、誰もが見やすい資料を作成し、分かりやすい説明を行うよう心掛け、より多くの方に「話が聞けてよかった」と言ってもらえるよう、毎回工夫しながら取り組んでいます。

◆今までの業務経験について（印象に残っていること、苦労話など）

財務局では、金融機関の検査・監督のほかに、国の予算や国有財産に関する業務、地域経済の調査など幅広い業務を行っています。

私自身、近畿財務局に入局後1～4年で異動があり、これまでに10の業務を経験してきました。業務が変わるたび、分からないことばかりで、不安になることも多々ありました。そんな時、「調べて分からなければ、聞けばいいよ。」と先輩の何気ない一言で、肩の力を少し抜くことができました。それからは一人で悩み過ぎず、常に上司や同僚と業務に関する情報や進捗状況を共有し、何事も早めに報告・相談するようにしています。

◆近畿財務局の自慢、その他職場の雰囲気など

財務局では、育児時間やフレックスタイムなど各種制度を活用し、子育てをしながら働いている職員が男女を問わず多数います。

私も、3人（大学1年、高校3年、中学2年）の子供を育てながら仕事を続けてきました。子供が小さい頃は病気やケガをすることが多く、保育園から迎えに来るよう電話がかかってくることも度々でした。「早く帰らないと…」と思いつつ仕事を続けていた私に、上司から「仕事の代わりはできるけど、ママの代わりは誰もできないよ。」と声をかけていただきました。そんな周囲の優しさのおかげで、子育てをしながら仕事を続けることができましたと、すごく感謝しています。

我が家の子供たちも大きくなり子育ても一段落したので、次は私が後輩職員をフォローしていきたいと思っています。

◆財務局を志望する方へのメッセージ

財務局の業務は多種多様で、パンフレットやホームページだけでは伝えきれないことがたくさんあります。私自身、財務局で23年間働いていますが、まだまだ未経験の業務も多く、仕事の内容は実際に携わってみないと分からないことばかりです。他の官庁も同様だと思います。

就職先を検討する中で、仕事の内容も大切ですが、自分がどんな風に働きたいのかという「働き方」についても考えてみてはどうでしょうか。これからの長い人生、仕事と生活の両立が実現できるよう、各官庁の説明会やセミナー、インターンシップなどに積極的に参加し、直接職員から話を聞くことで、各官庁の雰囲気を体感し、自分の働く姿をイメージしてみてください。

「財務局ってどんなところ？」と少しでも気になった方は、ぜひ一度、財務局へお越しください。皆さんとお話できることを楽しみにしています。

